

■ヒア' ■ヒアリングのコメント等からのプログラムの成果の分析

		区の運営	区・事務局の施策	本事業全体の地域へのアウトカム
		①協働のガバナンス 区は協働の取り組みを推進するための仕組みをつくり、運営してきたか	②地域課題解決プロジェクトの事業構築における 中間支援機能 事務局（区・パートナー事業者）が事業構築のために下記の機能を提供したり、促す場づくりができたのか ・変革促進 ・プロセス支援 ・資源連結 ・問題解決提示	⑤社会的学習 地域課題の解決を効果的に行えるように、区・担い手・区民の間の学びあい、育みあいがあったか。それが定着しているか
ミライ対話		○区の取り組みの紹介、区民との対話に参加 ・テーマを所管する職員が参加。区の取り組みを紹介、区民と対話をする場を提供。（全体） ○重点テーマの設定 ・協働の重点テーマを定め、それに関心のある層へリーチし、担い手発掘へ（H25年度、H26年度）。	○地域の課題を知る場 ・地域の働く母親の困り事を、空手の教室でサポートできるヒントを得た ○担い手育成の入口（流入導線入口） ・ALP講座を受講する前に、プロジェクト参加者の様子等を知る場として機能 ・文京区へ引っ越してきて、地域活動へ参加するきっかけとなった（文京区にも地域活動があることを知った） ○活動の共感者や仲間を集める場 ・やりたいことをいい続けたことで、仲間や資源が少しずつ集まってきた ・ミライ対話での出会いから、ネットワークが構築。ネットワーク構築によって事業立ち上げの不安が和らぎ、協力者を紹介してもらえるようになった ・その後チームのコアメンバーとなるキーパーソンとの出会い ・やりたいことをいい続ける場。共感者やお手伝いしてくれる人を獲得していく場 ・ミライ対話が地域とつながるきっかけとなった（拠点がなかったため、ありがたかった） ○地域活動に興味のある人、テーマに興味のある人の出会いの場 ・「地域」をキーワードとしている人たちと出会いの場となっている ・前から地域活動に興味があり勇気をもって参加したのがミライ対話。そこから、同じくらいの年代の仲間と出会い、それをきっかけに、地域のプロジェクトを手伝うようになった ○地域のリソースと出会う場 ・地元のNPOのスタッフとの出会いから、事業が具現化	
文京アクション・ラーニング講座	文京アクション・ラーニング講座	○課題の再設定により、やりたいことが明確に ・やりたいことが、プロジェクトのアイデアとしてまとまる。色々な人と議論し、やりたいことを文章化することで、プランがまとまる ・メンターミーティングで受けた指摘が、その後の事業構築に影響を与えている（○専門家や第三者の意見がプランをブラッシュアップ） ・あらためて地域の課題について目を向けるようになった ・地域課題解決という根っこが同じ仲間と出会い、自分の考えが深まった。 ○事業実施の姿勢の習得 ・アクションすることで見えてくることがあると認識できたため、その後、積極的に動きながら事業を展開すればよいというマインドを醸成 ○プロジェクト推進の後押し ・H24年のアクション・ラーニング講座が、プロジェクト立ち上げのきっかけに（やりたいことが、具体的なプロジェクトへ移行、試行的アクションによりプロジェクトに手ごたえを感じる機会に） ・試行的アクションをする必要性が出たため、地域と積極的につながりをつくったことと、ワークショップを実施してみたことが、その後の活動につながった。 ○地域の仲間のつながりやネットワークづくり ・受講生同士のつながりや区からの紹介などで、区内の「つながり」ができた → 独自の活動だけではできなかった地域へのアプローチができた ・人脈構築、自分のやりたいことを興味・理解してもらえ、そこから人のつながりが広がっていった ・地域の活動、つながりづくりのきっかけとなった。そこでの出会いから、こまじいの家など地域のリソースへとつなげてもらった。 ・その後のチームのキーパーソンとなるメンバーとの出会い	○活動を相互にサポートする地域のコミュニティの形成 ・地域に対して同じような考えや思いを持っている人との出会いとつながりができた ・地域という同じ文脈の中で、志が一緒の人と出会える意味は大きい ○自己変容のきっかけとなる ・地域活動応援講座（街角ミーティング）で、活動をするには、一人ではできないこと、まじめに話せる仲間がいるからこそ活動ができることを体感した ○地域コーディネーターへの成長の促し ・ALPを通じて、一人ではできないことも、誰かが新しい視点を入れてくれたり、違う人の知識を入れることで実現していくという体験ができる。だから、困っている人を見ると、何か少しアドバイスをすると進むということがわかるので、コーディネーター的な振る舞いができるようになる。ALPでは、繋がりがながら実現しようというのを教えてくれるし、体験できる	
社会起業入門講座		○講座受講生同士の出会いの場 ・地域活動貢献講座にて、一緒に活動を進める仲間を得る ○取り組みのヒントを得る場 ・先進的に取組んでいる方の話から、活動のヒントを得る		

<p>文京アクシオン・ラーニング講座</p>	<p>社会起業フェスタ</p>	<p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビ等取材準備など情報発信をサポート <p>○区を取り組み姿勢の外部発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長の参加を促すなど、区プロジェクトであることをアピールし、協働に対する区の姿勢を明示 	<p>○課題の再設定の必要性を知る場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者からの指摘で、プランを見直すきっかけになる <p>○共感者を増やす場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民へのプレゼンテーションが共感者を増やすチャンスとなった ・自分のプロジェクトを知らない人と出会えるきっかけとなり、仲間を集めることができた <p>○異なるセクターの人との出会いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店街のキーパーソンとのつながりができた <p>○プロジェクト推進のマイルストーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスタでの発表が一つのマイルストーンとなり、プランをまとめることが加速する ・フェスタで発表することで、その準備が自分の考えをまとめるチャンスとなった ・フェスタで発表が一つの目標となっていた <p>○活動の仲間やサポーターを得る場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスタでの出会いにより、仲間を得る（プロボノ的に関わる重要な主要スタッフとの出会い） ・やりたいことを情報発信、キーパーソンとの出会いにより、試行的な活動をすることができた ・フェスタで知りあった人とつながり、同じ思いを持っていることがわかり、プロジェクトへとつながっていった ・地域とのつながりのキーパーソンと出会った <p>○地域での活動のきっかけを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でなにかしたいと思っていたときに、手伝いを必要としているプロジェクトと出会い参加することとなった。地域のNPOを紹介されたことで、自分のやりたかったプロジェクトをやってみるチャンスを得た。 	<p>○自己変容のきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じようなママも地域の活動をしていることを知り、自分も地域活動に参加することを後押ししてもらった
<p>プロジェクト支援制度</p>	<p>プロジェクト支援</p>	<p>○協働への担い手育成への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考会への委員、区担当課の参加、コメントが、プロジェクトの方向性へ影響（全体） ・ミーティング等における協働を前提とした指摘が、事業のねらい、特徴の明確化の指針となった。 	<p>○事業の社会的意義の明確化（課題の再設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト支援により、事業の対象課題、意義の言語化、実態把握、課題の裏打ちのためのアンケート実施、プログラムの特徴、必須ポイントの明確化、共感者を広げるシンポジウム開催（ステージアップへとつながった） ・ハンズオンの支援や、第三者からの意見から、自分の活動の軸を定めることができた。やりたいことだけでなく、区の課題などを考えることができ、この考え抜いたことが自分の活動の基盤となった ・やりたいこと、やっていることの社会的な意味づけ価値を見出し、言語化することができた。 ・事務局からのアドバイスが、これまでの団体文化を変えるきっかけに。自分たちのやってきたことの価値を整理できた <p>○プロジェクトの推進のきっかけ、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動を始める後押しとなった。支援になったからやらなければならないという責任から、一通りのことを実施することができた ・文京区の支援となることで、ゼロからでも地域での活動をスタートアップすることができた <p>○メンバーのスキルアップ、事業の取り組み姿勢の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既にあったプロジェクトの方向性を迷っていた時に、支援を受けて、自分で考え事業基盤を作っていくことを、サポートしてもらえた。自信の事業を進めていくための考えやスキルの習得ともなった。 <p>○地域のつながりづくりのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話など他プログラムに参加すること、区や事務局の紹介、関係課の紹介で、地域とつながり活動するコアメンバーを確保することができた ・関係課の紹介で地元の企業へアンケートを実施することができた <p>○スタッフのマインドチェンジへ寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局などの第三者が入ることで、スタッフ内の意識統一、マインドチェンジへつながった <p>○区の御墨付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援プロジェクトとなることで、「ソーシャルな活動」であることがオーソライズされ、営利目的でないと、周りからの理解が進んだ。仲間を集める、手伝いを求める声がかげやすくなった <p>○専門家や第三者の意見がきけるチャンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンターミーティングで、プロジェクトの方向性について賛同してもらったことが心強かった。リーダーとして相談できる人もいなかったで、自分のやっていることが正しいと確信を得た 	<p>○新たな公共の担い手の成長の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンズオンで支援することで、プロジェクトを進めていく「方法」を学ぶ（シンポジウムを実施することで、人の巻き込み方がわかった） <p>○地域の活動のコーディネーターとしての成長の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実施の体験から、他の人のプロジェクトのアドバイスも実施できるようになった（プロマネ的な立場に、プロジェクトを実施するコツを客観的にアドバイスできる、人に言われ気づくこともあると実感した経験よりアドバイスできる等） <p>○自己変容、成長のきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトを一通りまわした経験より、とにかくアクションをやってみる大切さを実感。これからも、大事に考えなくてもやればできるという自信につながった <p>○新しい活動の仲間やネットワークとの出会いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援プロジェクトとなったことで、ネットワークができ、その人たちが当該以外の団体の活動サポートしてくれるようになった ・社協などとのネットワークができた
	<p>プロジェクト登録</p>		<p>○資料を作成することで自分のやりたいことが明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト登録に応募するために事業計画を作成。書類作成を通じて、やりたい内容が整理され、事業が明確化された <p>○区の御墨付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録プロジェクトとなることで、知名度が上がり、他から声をかけてもらえるようになった 	
<p>NPO活動PRフェア</p>			<p>○区民への情報発信の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの活動をニュートラルに知らせることができた。NPOの活動の発表の場となることが、メンバーのモチベーションアップにもつながった。 	<p>○地域のネットワークの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のNPOの活動を知ることができ、ネットワークができた

交流会活動		<p>○相互支援の基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ALPの受講生同士でのフォローやプロジェクトへの参加を促す <p>○活動の仲間と出会う場</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流会活動の中で企業とコラボした活動があり、そこからコアとなるメンバーとの出会いがあった 	<p>○ロールモデルの出現（自己変容のきっかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のプロジェクトのロールモデルとなった。 <p>○相互支援の基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いのプロジェクトを支援し合う、リソースを使い合う体制が構築 活動を進める上での仲間同士としてのネットワークとなった。助成金情報などの情報を得たり、自分も刺激となって挑戦してみようというモチベーションアップとなる 地域について語り合うコミュニティバーの開催&継続ができた
全体を通じて		<p>○文京区のリソースへの気づきを促す、資源連結</p> <ul style="list-style-type: none"> 文京区には、「何かをやりたい」という人が多いことに気づかせてくれて、これらの人とつないでくれた。 	<p>○アクションを通じた地域活動推進の取り組み姿勢の醸成（自己変更のきっかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分にはこの道しかないと思いついていても、人とつながって行くことによって別の道があると分かり、行動の仕方が変わっていった 事業を始めてみて実行することが何よりも大事だということがわかった <p>○相互支援の基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なプログラムを通じて紹介された地域の人とのネットワークで、直接ユーザーにはならなくても、人を紹介してもらったり、同じような考えの人がいるというように紹介してもらえる関係ができた。そのことで、自分の方向性が正しいことを再認識した。 スープのさめない距離での仲間ができた。活動するにはちょうどよいサイズ感。また、物理的な距離もちょうどよく、顔を合わせてミーティングがすぐにできるのが、活動を進めるのに役立つ <p>○地域での役割の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことが少し見えてきた。プロジェクトをまわす側よりも、やりたい人をサポートする側になりたいと思えるようになった <p>○地域活動が今後も生まれる土壌の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 何かやりたいといい続けていると、文京区ならいつかサポートしてくれる人が現れる、実現できるという実感を持てた 地域活動が盛んであることが顕在化した。みえる化したことで、今後の新しい活動やアイデアにつながる可能性がある 区内にあるリソースをつないでいる（優秀な人材）。文京区だからできるプロジェクトでもある。 <p>○地域への愛着の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな公共プロジェクトに参加することで、地域が身近になった。区に関心が持てるようになった 「地縁」ではない「地域軸」という新しいコミュニティができたと思う <p>○地域加地解決の公助ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の困り事を自分たちで解決するネットワークができてきている（虐待を受けている子のケア等）
その他	<p>○協働推進の意識改革、風土改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働推進委員会の開催（課長クラスへのアプローチ、全庁的な風土改革） 職員研修 	<p>○関係課</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童青少年課（助成金によりプロジェクトが実現、責任が発生することでプロジェクトが進展） 高齢福祉課のサポートでプロジェクトが推進（地元企業の紹介、助成金 等） <p>○社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 社協の社会福祉コーディネーターと出会い、やりたいことをじっくり聞いてもらい、そのときに必要な資源（場所）を紹介してもらったことで、プロジェクトが実現 社協の助成金により、プロジェクトが進行 高齢福祉課のサポートでプロジェクトが推進（地元企業の紹介、助成金 等） <p>○経済課</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業診断士による形成相談で、事業のシャープ化 経済課の講座によるビジネスプランづくり <p>○区民課他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動応援講座（街角ミーティング）、高齢福祉課講座により、何か地域でやってみたいという時に、地域の声やニーズを直接聴くことができた。地域をつなげるネタとして、映画を思いついた。 <p>○地元の企業との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の委託やコラボ案件など、実際の区での事業につながった <p>○商工会議所、商店街とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人脈を得ることができた 	<p>○地域のネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の助け合いのネットワーク構築（地域の不用品を集めて、再利用） <p>○地域との関わり方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを実施してみて、地域での活動の難しさを実感。また、活動するには、じっくりと関係性をつくることの大切さを学ぶ 地域で事業を始めて、地域でビジネスを実施するやり方、関係性の作り方がわかった（ビジネスライクでは進められない）